

相談支援従事者研修（初任者研修・前期日程）
（サービス管理責任者／児童発達支援管理責任者向け） シラバス

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	講義 1 相談支援（障がい児者支援）の目的
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	相談支援（障害児者支援）の目的（1 時間分）
○	3 関連する研修目標	（1）本人主体の相談支援の目的と基本的視点を理解すること
○	4 担当講師名	日置 真世 報告者として、当事者の方数名予定
○	5 担当講師略歴	北海道大学教育学部卒業 社会福祉士 長女の障がいを機に親の会活動から NPO 法人地域生活支援ネットワークサロンを立ち上げ、事務局代表とし従事後、北海道大学子ども発達臨床研究センター助手を経て、フリーソーシャルワーカーとして全国、全道の地域づくりや人材育成をサポートし、2016 年 4 月より 北海道地域ケアマネジメントネットワーク事務局長に就任。
○	6 時間数	1時間
○	7 到達目標	・本研修（講義）の全体的な趣旨について理解する。 ・相談支援（障がい児者支援）の基本姿勢と基本理念について概要をつかむ。 ・当事者（または家族）の意思及び人格を尊重し、常に当事者の立場に立って行われるものであることを理解する。 ・障がいの多様性の理解のもと、真意の確認に配慮を要する障がい者とのコミュニケーションの基本を理解する。
○	8 教科の概要	地域生活支援の出発点は相談支援であり、当事者の話を聞くことから始まります。この講義では実際に当事者の話を相談支援経験者が聞く様子を見ることによって、相談支援の基本姿勢や障がい児者が希望する生活の具体像やサービスや人などの社会資源などについて考え、学びます。
○	9 授業方法	・説明および講義 ・障がい当事者（または家族）の方からの発信及び進行役との対談
○	10 授業計画	1. 講義全体のオリエンテーション 2. 相談支援（障がい児者支援）における当事者の声を聴くことの意義や重要性、ポイントの整理 3. 当事者数名からの発信 4. まとめ
	11 準備学習	特になし
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	講義2 相談支援（障がい児者支援）の基本理念 障がい児者支援の法制度の理念と相談支援の基本姿勢
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	・相談支援の基本的視点(障害児者支援の基本的視点)(1.5 時間分)
○	3 関連する研修目標	(1) 本人主体の相談支援の目的と基本的視点を理解すること
○	4 担当講師名	田中 耕一郎(北星学園大学 社会福祉学部 福祉臨床学科 教授)
○	5 担当講師略歴	大阪府立大学大学院 社会福祉学研究科 博士[社会福祉学]修了 専門分野:社会福祉、障害学
○	6 時間数	1.5 時間
○	7 到達目標	・障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に至る障害者福祉施策の概略を理解する。 ・相談支援(障害児者支援)に必要な価値を学ぶ。
○	8 教科の概要	今世紀における障害者施策の動向(概説)を把握した上で、障害者福祉を方向づける4つの基本理念「ノーマライゼーションの思想」「自立支援の思想」「社会モデル」「合理的配慮」について、その誕生の背景を含めて理解し、そこから相談支援(障害児者支援)に重要なキーワードを導く
○	9 授業方法	講義形式
○	10 授業計画	1. 今世紀における障害者施策の動向(概説) 2. ノーマライゼーションの理念 3. 自立生活の思想 4. 社会モデルから合理的配慮へ 5. 障害者福祉の基本理念に基づく相談支援の基本姿勢
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	講義 3 相談支援（障がい児者支援）の基本的視点
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	・相談支援の基本的視点（障害児者支援の基本的視点）（1 時間分）
○	3 関連する研修目標	（1）本人主体の相談支援の目的と基本的視点を理解すること
○	4 担当講師名	大久保 薫（札幌学院大学人文学部人間科学科 特別任用教授）
○	5 担当講師略歴	日本福祉大学 I 部社会福祉学部社会福祉学科卒業、札幌市地域づくりネットワークワン・オール（基幹相談支援センター）所長、社会福祉法人あむ理事、特定非営利活動法人北海道地域ケアマネジメントネットワーク代表理事、特定非営利活動法人野中ケアマネジメント研究会代表、北海道障がい者が暮らしやすい地域づくり推進本部本部員、社会福祉士、精神保健福祉士、主任相談支援専門員
○	6 時間数	1 時間
○	7 到達目標	・相談支援（障害児者支援）実践に必要な価値を学ぶ。 ・意志決定支援に関わる基本的視点を学ぶ。
○	8 教科の概要	相談支援を考える前提として、障がいのある人等への支援のあり方について、福祉制度との関係を含めて考察するとともに、意志決定支援に必要な基本的な視点を確かめる。これらを通して、相談支援の前提となる「支援」とそれを担う専門機関、専門職のあり方を問う。
○	9 授業方法	講義形式
○	10 授業計画	1. 福祉制度と支援を考える 2. 本人主体の支援を考える 3. 意志決定支援を考える
	11 準備学習	特になし
	12 教科書・参考書	「ライオンを飼いたい」（2025 年、中央法規）
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	講義 4 相談に必要な技術 相談支援の基本となる対人援助スキル
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	・相談に必要な技術(1 時間分)
○	3 関連する研修目標	(2)相談支援におけるケアマネジメントの手法とプロセスを理解すること。
○	4 担当講師名	大友 愛美(NPO 法人ノーマライゼーションサポートセンターこころりんく東川副理事長)
○	5 担当講師略歴	北星学園大学文学部社会福祉学科卒業 専門分野:障害者支援 ソーシャルワーク
○	6 時間数	1 時間
○	7 到達目標	・ニーズを把握するために必要な共感的理解のスキルを身につける。 ・意思確認のベースとなる特性理解と対人援助スキルの関係を理解する。
○	8 教科の概要	言語コミュニケーションを活用した傾聴の技法をベースにしたニーズ確認のスキルを学んだうえで、重度知的障害やASDなど言語コミュニケーションだけではニーズ把握が困難な利用者とのコミュニケーションスキルについて学ぶ。さらに、事例検討を通して行うチームづくりや、支援者のメンタルヘルスに配慮した研鑽の方法について考察する。
○	9 授業方法	講義形式
○	10 授業計画	1. 面談の技法(対人援助の基本スキル) 2. 言語コミュニケーションに頼らないコミュニケーションとは 3. 事例検討を使った学びとチームづくり
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	講義 5 相談支援におけるケアマネジメントの手法とプロセス
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	・相談支援(障害児者支援)の目的(0.5 時間分) ・相談支援におけるケアマネジメントの手法とプロセス(1.5 時間分)
○	3 関連する研修目標	(2)相談支援におけるケアマネジメントの手法とプロセスを理解すること。
○	4 担当講師名	金子 一也(NPO 法人縁 相談支援事業所結)
○	5 担当講師略歴	平成 9 年 4 月～平成 24 年 3 月 社会福祉法人 音別憩いの郷入職。知的障害者更生施設 支援員、障害者支援施設 サービス管理責任者等に従事。 平成 24 年 4 月～令和 5 年 3 月 同 釧路市障がい者基幹相談支援センター 所長・相談支援専門員 令和 5 年 4 月～現在 NPO 法人 縁 相談支援事業所 結 副所長・主任相談支援専門員
○	6 時間数	2時間
○	7 到達目標	・本人を中心としたケアマネジメントのプロセスと必要な技術の全体像について理解する。 ・本人中心支援を実施するにあたり、必要な支援技術としての相談面接技術の基礎を理解する。
○	8 教科の概要	ケアマネジメントは相談支援の一つの手法ではありますが、相談支援や対人援助にとって重要な要素をたくさん含んでいます。本講義ではケアマネジメントの基礎概念と歴史的な背景を理解するとともに、実際のケアマネジメントの流れを具体的にイメージできるような理念、知識、技術をお伝えします。
○	9 授業方法	DVD 視聴＋講義形式
○	10 授業計画	0. 映像教材の視聴 1. 本人主体の相談支援とケアマネジメント 2. ケアマネジメントの実際 3. 相談支援専門員と他職種アプローチ
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	講義 6 相談支援における家族支援と地域資源の活用への視点 障がい児相談支援のポイント
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	・相談支援における家族支援と地域資源の活用への視点(1.5 時間分)
○	3 関連する研修目標	(1) 本人主体の相談支援の目的と基本的視点を理解すること (2) 相談支援におけるケアマネジメントの手法とプロセスを理解すること。
○	4 担当講師名	佐々木 浩治(NPO法人 障がい児・者地域サポートふれあい)
○	5 担当講師略歴	札幌で幼稚園勤務を経て、足寄町の母子通園センターに入職後、足寄町の障がい児支援に携わるとともに、北海道の早期療育の現場やネットワークづくりにも貢献。2021 年 6 月より現職。
○	6 時間数	1.5 時間
○	7 到達目標	障がい児の相談支援特有の背景や現状を理解し、障がい児相談支援を不安なく受けることができるような知識や技術を学ぶ。
○	8 教科の概要	障がい児施策の変遷をとらえた上で、障がい児支援に必要な知識と大切な視点について理解し、障がい児相談支援に大切なポイントについて考えます。
○	9 授業方法	講義形式
○	10 授業計画	1. 自己紹介 2. はじめに～私の大切にしている考え方 3. 愛着障がいを考える 4. 乳幼児健診とは 5. 障がい児支援の基礎知識 6. 保護者（家族）支援とは 7. 実際の場面で大切にしてほしいこと 8. まとめ～相談支援・計画作成で大切にしてほしいこと
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	講義 7 障害者総合支援法及び児童福祉法の概要及びサービス提供のプロセス
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	・障害者総合支援法及び児童福祉法の理念・現状とサービス提供プロセス及びその他関連する法律等に関する理解（1.5 時間分）
○	3 関連する研修目標	(3)障害者総合支援法(児童福祉法)におけるサービス提供のプロセスを理解すること。
○	4 担当講師名	浜尾 勇貴(根室圏域障がい者総合相談支援センター「あくせす根室」)
○	5 担当講師略歴	平成 12 年 4 月～平成 17 年 7 月 北海道立白糠学園(現 社会福祉法人北海道社会福祉事業団 白糠学園) 平成 17 年 7 月～現在 社会福祉法人北海道社会福祉事業団 根室圏域障がい者総合相談支援センター「あくせす根室」 地域づくりコーディネーター、相談支援専門員として従事。
○	6 時間数	1.5 時間
○	7 到達目標	・障がい福祉制度の動向、障害者総合支援法(児童福祉法)の概要について理解、把握する
○	8 教科の概要	相談支援専門員とサービス管理責任者・児童発達支援管理責任者が関与する法制度や施策の動向、障害者総合支援法(児童福祉法)の概要について道庁職員から説明する。
○	9 授業方法	講義形式
○	10 授業計画	1. 障がい者総合支援法・児童福祉法に規定されるサービス 2. サービス利用の手続き 3. 相談支援事業と協議会 4. 相談支援専門員とサービス管理責任者・児童発達支援管理責任者 5. 最近の動向
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	講義 8 障害者総合支援法等における相談支援（サービス提供）の基本 ～相談支援とケアマネジメントの実践
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	・障害者総合支援法及び児童福祉法における相談支援（サービス提供）の基本（1.5 時間分）
○	3 関連する研修目標	(1) 本人主体の相談支援の目的と基本的視点を理解すること (2) 相談支援におけるケアマネジメントの手法とプロセスを理解すること。 (3) 障害者総合支援法（児童福祉法）におけるサービス提供のプロセスを理解すること。
○	4 担当講師名	日置 真世 報告者として、相談支援専門員、サービス管理責任者等数名
○	5 担当講師略歴	（講義1に掲載）
○	6 時間数	1.5 時間
○	7 到達目標	総合支援法に基づいた実際の相談支援（障害児者支援）の現場の業務や悩み、その解決方法などについて具体的に理解し、実働に活用することができる。
○	8 教科の概要	これまでの講義内容を踏まえて、実際に相談支援（障害児者支援）の現場で働く実務者から経験談を聞くことにより、相談支援に必要な理念、知識、技術について実践に即して理解を深めます。
○	9 授業方法	実践者複数によるシンポジウム形式
○	10 授業計画	1. 趣旨説明・登壇者からの自己紹介 2. 相談支援に関する具体的な経験談 相談支援専門員になった経過や思い、理想と現実、やりがいと苦労 3. 議論により話題を深める 4. まとめ これから相談支援専門員、サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者になる方へのメッセージ
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	